

挨　拶

第 70 回東北造形教育研究大会青森大会兼
2026 年度青森県造形教育研究大会東青大会

大会長　成田　博樹

色鮮やかな紅葉が八甲田や白神の山々を彩り、実りの秋を迎えたここ青森の地へ、東北６県から図工・美術教育に情熱を注ぐ多くの先生方をお迎えできますことを、心より嬉しく光栄に存じます。

本大会は「創る喜び 伝える喜び～感性豊かに未来へつながる～」をテーマに掲げ開催いたします。変化の激しい現代において、子どもたちが自ら感じ、考え、表現する創造活動の役割は極めて重要です。私たちの研究活動では、造形的な見方・考え方を働かせ、手を通して生み出される「創る喜び」、自らの思いや作品を表現することを通じて、他者や社会と響き合う「伝える喜び」の体験を子どもたち一人一人に味わわせることで、子どもたちの感性を豊かに育むとともに、未来を力強く切り拓くしなやかな原動力となるものと考えております。

また、研究発表や提案授業では、日頃の真摯な教育実践を持ち寄り、課題や魅力を共有し合います。特に提案授業では、世界的な版画家・棟方志功の言葉と表現が融合した「書」、紙の裏から色彩を馴染ませる「裏彩色」、滲みや飛沫を生かす「躅飛々沫隈暈（ちょくひひまつわいうん）描法」といった独自の技法を取り入れた題材や、ねぶた師の個性あふれる表現技法を活用したアプローチなど、地域の文化財や先人の知恵を現代の学びに結びつける挑戦的な実践も提案されます。

さらに、記念講演では、本年２０２６年青森ねぶた祭において、最高賞である「ねぶた大賞」を受賞されました「第７代ねぶた名人」竹浪比呂央先生にご講演いただきます。厳しい冬を越え、人々の情熱と匠の技で光を灯す「ねぶた」の創作世界に触れることは、表現の本質や地域の誇りを継承する教育の可能性を見つめ直す、大変刺激的な機会となるはずです。

結びに、本大会の研究活動及び開催にあたり、温かいご指導とご支援を賜りました青森市教育委員会の皆様には、心から御礼申し上げます。そして、青森の豊かな自然と温かい風土のもと、東北の造形教育の更なる発展を目指し、先生方の情熱と知恵が響き合う実り多き大会となりますことを深く祈念し、歓迎のご挨拶といたします。